

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させてい
たきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 敦賀気比高等学校附属中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
 住所 〒914-8558
福井県敦賀市沓見164-1
 E-mail : kyoumu@tsurugakehi.ed.jp
 Website : www.tsurugakehi.ed.jp

児童生徒数：男子 46 名 女子 27 名 合計 73 名
 児童・生徒の年齢 12 歳～ 15 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

はじめに

本校は、2012年10月にユネスコスクールに認定され、それ以降、ユネスコスクールとしての活動を行っている。昨年度までは、スーパーサイエンスプロジェクト（通称SPP）の採択を受け、ラムサール条約に登録された中池見湿地を舞台に理科的な分野を中心とした学習を展開してきた。しかしユネスコスクールに認定された今年度は理科的な分野だけに限らず、中池見湿地の歴史や活動範囲も敦賀市全体へと視野を広げ、持続発展的な地域を意識して活動している。

また修学旅行を利用してユネスコの世界遺産暫定一覧表にある「九州・山口の近代化産業遺産群」の一つである宮原坑の見学を行ったり、大牟田市立米生中学校と交流会を行った。

活動体制

総合的な学習の時間は1年～3年の全校生徒73名を8つに分け、学年混合の縦割り班を作り、班別に研究テーマを決定し、活動した。1つの班は9～10名で構成されている。縦割り班の活動にしたのは、ESD教育で最も重要視されている「持続」を意識しているからである。上級生から下級生に向かってそれぞれの保全の方法などについて語り継いでいくことで、活動を続けていくことが可能だと考えたからである。

また機会を捉え、3年生が他校との交流を図ったり、2年生が平和について考える交流会を行ったりした。

総合学習「ふるさと敦賀塾」の各班の活動テーマとねらい

- 1班 中池見湿地の水生生物・・・絶滅危惧種「ホトケドジョウ」の調査、ならびにアメリカザリガニの駆除を通して生物多様性のすばらしさについて探求する。
- 2班 中池見湿地の水質調査・・・湿地内の各地点でのpHや導電率などを比較し、水環境を守るための調査を行い、多様な生き物をはぐぐむ水の偉大さを実感する。
- 3班 中池見の古民家での生活・・・田植えや古民家での生活を体験し、便利な現代との比較を通して、持続発展的な暮らしとは何かについて考察する。
- 4班 中池見地域に残る昔話・・・戦国時代や農業など昔の人の知恵が無くなってしまふことを危惧し、NPO法人「中池見ねっと」の方や「中池見会」・「スマレ会」の方からお話を伺いそれらを書き留め残す。
- 5班 中池見湿地の外来種除去・・・中池見湿地の在来種を守るためにセイダカアワダチソウなどの外来種を除去し、在来種を保護する活動をとおして、ラムサール条約に登録された意味の深さを考える。
- 6班 特定外来生物（オオキンケイギク）の除去・調査・・・笙ノ川沿いに生えているオオキンケイギクを除去したり、敦賀市内のオオキンケイギクマップを作る。
- 7班 敦賀市自転車観光マップ・・・敦賀市は、自転車を利用して、海のレジャーも山のレジャーも楽しめるすばらしい場所であることをアピールする。

8班 松尾芭蕉来敦後の敦賀の俳壇について・・・敦賀市立博物館の高早学芸員と一緒に芭蕉が「奥の細道」の旅で訪れた地を訪ねながら話をお聞きし、その後の敦賀人について探求する。

ユネスコスクールとしての主な活動

◎4月26日(金)午前 春のフィールドワーク

春のフィールドワークは、全校生徒で中池見湿地に向かい、5班がまとめるセイヨウタンポポ(外来種)とセイタカタンポポ(在来種)の分布調査の他に、外来種のたんぼぼの除去も行ったが、雑種や外来種を抜くのは、とても時間がかかって大変だった。途中、カエルなどのいろいろな生き物を見ることができた。

◎6月22日(土)午前 夏のフィールドワーク

今回からは、各班の活動テーマに沿った活動のみをそれぞれ行った。春のフィールドワークを終えて、各班が活動内容を精査し、活動に取り組んだ。中池見湿地での活動を行う班は、大型バスで移動し、中池見湿地での活動を行い、6・8班は中型バスで移動し、7班は自転車を利用して移動した。

今回、初めての試みとして、保護者にもよびかけ、父母師会(いわゆるPTA)の役員を中心に10名の保護者にも参加を呼びかけ、活動した。

◎10月5日(土)午前 秋のフィールドワーク

各班の活動テーマに沿った活動について生徒だけでそれぞれ行った。

◎10月24日(木)ユネスコスクール加盟校交流会(於:大牟田市立米生中学校・世界文化遺産候補地宮原坑)

修学旅行を利用してユネスコスクールである米生中学校の生徒の皆さんと交流会を行った。修学旅行を利用して京都を訪れた際の発表を聞き、生徒たちは大変感動した様子であった。

◎11月30日(土)午前 冬の観察会

各班の活動テーマに沿った活動について生徒だけでそれぞれ行った。

◎2月15日(土)「ふるさと敦賀塾」校内成果発表会10:00~12:00

一年間を通して、班別に活動してきた内容について、各班10分程度のプレゼンテーションを行う。

◎2月23日(日)福井県合同課題研究発表会(於:福井県民ホールアオッサ)13:00~15:00

福井県内に活動を報告することが有意義であることを考え、「中池見湿地を利用した持続発展生活の模索」と「中池見湿地の水質調査2013」というテーマでポスターセッションを行った。

◎3月8日(土)つるが環境フェアにてプレゼンテーション(於:きらめきみなど館)10:50~11:40

一年間を通して、班別に活動してきた内容について、環境に関わることや敦賀市に関わる部分に特化して各班5分程度のプレゼンテーションを行う。

◎3月15日(土)

『平和の道』シンポジウムのため来敦された駐日ポーランド共和国大使や元駐日ポーランド共和国大使館商務参事官ご夫妻とともに交流会を行った。

成果と今後の展望

ユネスコスクールとしてはじめて取り組んだ総合学習「ふるさと敦賀塾」であったが、12月末に行った学校評価アンケートによると、「この活動に積極的に取り組んだか」の問に対して62%の生徒が「そう思う」または「ややそう思う」と答えており、まずは及第点としたい。しかし「この活動を通して持続発展的な社会を作ることの重要性について少しは気がついたか」の問いに対しては、「そう思う」または「ややそう思う」と答えている生徒が、63%にとどまっており、積極的でなくても自分の中にいくらかの変化を期待していただければ満足いく結果にはなっていない。教師側の働きかけを工夫し更なる飛躍を心がけたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）